

令和元年度第1回

東御市地球温暖化対策地域推進協議会議事要旨

R元.7.1(月)9:30~12:00

勤労者会館 2階大会議室

【出席者】

(委員：敬称略)

吉村 武洋、宮原 則子、小林 貴文、渋沢 美文、大塚 良幸、森 まり子、

塚田 実津夫、大池 健、北村 大、新田 詔三、中澤 亥三

[欠席：高橋 史尚、佐藤 千枝、松井 進、平林 太、小野 賢一 (委嘱式のみ参加)]

(事務局)

高藤生活環境課長、山浦環境対策係長、大井環境対策係主事

【配布資料】

- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会会議次第
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会委員名簿
- ・東御市地球温暖化対策地域推進計画 課別推進施策総括表 (中期実行計画)
- ・第2次東御市地球温暖化対策地域推進計画の策定について (案)
- ・地球温暖化対策における各課施策 (案)
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会設置要綱

【議 事】

<委嘱式>

1. 開 会

2. 新委員の委嘱

3. あいさつ

4. 閉 会

<会 議>

1. 開 会

2. 自己紹介

3. 正副会長の選出
会長：吉村 武洋 委員 副会長：宮原 則子 委員

4. 会議事項
 - (1) 東御市地球温暖化対策地域推進計画（中期）30年度実績について

 - (2) 第2次東御市地球温暖化対策地域推進計画の策定について

 - (3) 地球温暖化対策における各課施策について

5. その他

6. 閉 会

【会議内容】

4. 会議事項

(1) 東御市地球温暖化対策地域推進計画（中期）30年度実績について

・昨年度実績報告

東御市地球温暖化対策地域推進計画課別推進施策総括表（中期実行計画）に基づき各施策の平成29年度実績について報告。計画全体でのCO2削減累計実績は42,287.9トン。平成30年度時点での計画進捗率は92.7%。

・実績に関する質疑応答

吉村会長

通し番号9-1の薪ストーブ設置補助が前年度1件と、例年より大幅に減少しているのはなぜでしょうか。

事務局 大井

現時点では原因は判明していません。おそらく周知が不足していたのではないかと考えております。また、昨年度は太陽光や太陽熱等の需要が高かったのではないかと考えております。

吉村会長

こういったことの原因を探ることが普及啓発につながると思いますので、確認をお願いします。

続いて通し番号30の1人1日1kg削減運動の取り組んでいる・いないの人数カウントはどうやって行ったのでしょうか。

事務局 大井

まず1人1日1kg削減運動を説明する前に、とうみエコライフDAYについてご説明させていただきます。とうみエコライフDAYは10/3に市内学校及び事業者、市民に対しチェックシートをお配りし、提出された取り組みから参加人数、削減量等を算出しております。

1人1日1kg削減運動については、このとうみエコライフDAYの参加者が1年間取り組みを継続したものとして、365倍したものが実績となっております。

新田委員

通し番号1のメガソーラーについてだが、市民が直接取り組むものではないので、正直市民の関心は薄い。しかし市民が太陽光発電システムなどに関心を持つのは大切だと思う。

市民が関心を持てる太陽光発電システムの推進をお願いしたい。

また、通し番号 25 のヒートポンプについてだが、この機能はいろんな分野で使われている。こういった原理でエコなのかという所から市民へ周知するといいいのではないかと思う。省エネに関して市民と行政がともに学ぶ機会があるといい。

次に、通し番号の 43 のデマンド交通だが、これから高齢化による免許返納も増える。そのためにもデマンド交通を利用促進させるのが必要だと思う。しなの鉄道の利用促進と合わせて、料金を値下げする等市民が利用しやすい体制づくりをお願いしたい。

最後に、通し番号 55 のレジ袋削減についてだが、信州大学の先生からヨーロッパではビニールの消費量が少ない形態だと聞いた。日本でもそういった社会になるよう取り組まないと温暖化対策にはつながっていかないとと思う。

事務局 山浦係長

メガソーラーについては増えている状況であり、市民向けの補助金については申請数が減少傾向であり、ピーク時から半分以下になっています。

FIT の価格低下が原因と考えていますが、それら世情に合わせて、補助金の対象項目に蓄電池を入れることを検討している状況です。

その他の項目についても、今年度、計画の見直しを予定していますので、その中でどのような取り組みを行うのかということを決めていきます。

吉村会長

通し番号 34 の事業者の電気自動車導入について、実績なしになっていますが、個人的感覚ではいろんな事業者が導入しているように見えます。なぜ実績なしなのでしょう。

事務局 大井

実績については表の左にあります関係課というところが主に推進及び集計をしているのですが、市内全ての事業者の保有している車両を調査することは不可能であるため、実績なしとせざるを得ない、と担当課から聞いております。

なので、実際には保有している事業者はいるかと思えます。

(2) 第 2 次東御市地球温暖化対策地域推進計画の策定について

事務局 大井

まず、資料の 3 ページ目、(5) 東御市地球温暖化対策地域推進計画の策定体制の表の委員会名を東御市地球温暖化対策地域推進協議会に訂正お願いいたします。

その他、資料に基づいて説明。

皆様からは多くの意見をいただければと考えているため、協議会以外でも電話・FAX・メール等でご意見いただければと思います。

中澤委員

計画を作り直すにあたって、東御市の現状（CO2 排出量の全体量）がわからないと立てようがないと思うが、その資料はありませんか。

また、その中でどの分野、事業者が多く排出しているかというのも分かればいいと思う。

事務局 大井

現在、業者へ委託して計算中でございます。今回の会議には間に合わなかったのですが、次回の会議では集計結果及びそれを踏まえた大まかな計画の形を皆様にご提示できればと考えております。

個別の割合については、例えば電力でどこが一番電力消費しているか、ということについてですが、調査できるものについては調査したいと考えています。

吉村会長

確かに割合が大きい所に取り組んでいただかないと大きな減少は見込めないと思いますので、できるだけわかるように調査いただければと思います。

宮原副会長

世界・国等の動きの中に、長野県環境エネルギー戦略が入っており、おそらく参考にするものとして記載していると思うのですが、現在県の計画も見直しの時期に入っており、第四次の計画を策定中です。そちらの内容に合わせた方がいいと思うのですが。

第三次は H25 年と古い情報で作られたものになるので参考にしない方がいいと思う。

事務局 大井

県の計画が見直しに入っていることは存じておりますが、計画策定の時期が被ってしまっており、当計画で参考にできるのは第三次の計画しかないと考えております。

県の方と相談して、どういった内容になっていくかというのが分かれば参考にいたしますが、現状では第三次しかないので、参考にできるところは参考にする、ということでご理解いただければと思います。

中澤委員

大切なのはこれからの子供たちについてだと思う。教育的な点も含めて、将来のことを見据えた計画にできるようお願いしたい。

事務局 大井

将来のためというのはその通りと思います。

具体的な内容についてはこの協議会で詰めていければと考えておりますのでご協力お願い

いたします。

(3) 地球温暖化対策における各課施策について

事務局 大井

資料「地球温暖化対策における各課施策（案）」に基づき説明。

事前に庁内委員会で集計した各課の意見をもとに作成しました。

現行計画の項目で、白は継続していくもの、黄色は内容的に統合や内容見直しができるもの、青は継続して行う必要があるが目標数値の算出が困難なもの、黒が事業が完了した等により項目から削除するものです。

事務局 山浦係長

見直しについて説明させていただきましたが、今までの実績及び将来推計については現在業者へ依頼して計算中でございます。

今回についてはこの項目は残した方がいい、こういった項目を追加した方がいい、この項目は消した方がいい等の、最初のたたき台としてご提示したものとなります。ご意見を願います。

森委員

多く質問がありますが、お答えいただければと思います。

・廃食用油のバイオディーゼル化の項目、統合・見直しになっていますが、どこに統合するのでしょうか。

・環境講座の開催について、補足に実績集計を検討とあるが、実行可能であるので、やってください。

・ガスコンロの高効率化についてですが、自分がエコジョーズを使用して、効果を実感していますので、市民への周知は行うべきと思います。

・デマンド交通の利用促進は利用率が下がっている状況ですが、その対策が出来ていません。今後、免許返納する高齢者は多くなると予想されるため、他市町村を参考にして効率的に運用するようにしてほしい。また、利用者の声が市政に反映されていないことから利用者が下がっているので、利用者にアンケートを取るなどして、利用者の声を反映した取り組みをしてください。

・レジ袋削減運動について、この数字の出し方を教えてください。

・グリーンコンシューマーについて、どこに統合するかは資料にはないようですが、私のアイデアとしてはどうみエコライフ DAY で「グリーンコンシューマーとは」を説明したうえで、項目として追加してはどうでしょうか。

・太陽光についてですが、FIT 価格が減少しており、正直需要はなくなっていくと思います。今後も需要があるのか、推進する必要があるかを検討してください。個人的には太

陽光発電を増やすより、エネルギー消費量の削減をする方が効率的だと思います。

事務局 大井

順番に回答させていただきます。

- ・バイオディーゼルの項目については統合ではなく、再利用という形で、地域環境の整備（ごみ関係）の項目に移動という意味で黄色くさせていただきます。
- ・環境講座の開催については担当部署へ聞き取りを行い、集計するよういたします。
- ・エコジョーズ等については、統合はいたしますが、各項目ごとの推進はいたします。あくまで計画の施策としてまとめる、という意味合いでした。
- ・デマンド交通については担当部署へ情報提供し、検討するよう伝えます。
- ・レジ袋についてですが、例年、やおふくでマイバッグ持参率を調査しております。マイバッグ持参率が多いということが、レジ袋が削減されたとみています。
- ・グリーンコンシューマーについては1つのご意見として頂戴いたします。とうみエコライフ DAY に組み込めるよう、改めてグリーンコンシューマーについての調査を行います。

事務局 山浦係長

個人住宅への太陽光設備導入については、今年度すでに十数件申請があります。おそらく50件を超える程度は申請があるとみており、まだ需要があると考えております。

このことから、現在のところは項目として残し、これからの社会情勢がどう変わっていくかを踏まえて見直しをしていければと思っております。また、同時に太陽光に代わるものも必要だと考えておりますので、検討していければと思います。

森委員

レジ袋削減運動は一か所だけではなく、市内の広い範囲でできるといいと思います。

中澤委員

レジ袋について、事業者の情報提供いただくことはできないのでしょうか。例えば年度初めにレジ袋の在庫が100あり、1か月ごとにどれだけ消費・追加したかによって計算するという事です。

事務局 大井

現状では可能であるかどうか、事務局ではお答えできません。

森委員

情報がいただけるかどうかはわかりませんが、事業者に聞いてみる必要はあるかと思

ます。私も交流のあるお店の方へ聞けたら聞いてみたいと思います。

大塚委員

会社として書類が出せるかはわかりませんが、コメリ東部店では半期に1回レジ袋の数を資産計上しておりますので、数字はわかるかと思います。

吉村会長

実態に即したデータというのは計画策定にも重要かと思うので、事務局にもそういった情報収集を検討していただきたい。

大池委員

計画内の取り組みについて、具体的な数値目標の可否等の説明がありましたが、具体的に計画を推進していくとうことを考えたときに、施策数が多くてもデータが取れない取り組みについて統合等をするというのはいいかと思います。

一方で、国際的な取り組みがあるという状況で、東信地域として取り組んでいるという事を地域・世界に発信するというのも必要だと考えてます。

数値に現れるものも大事だと思いますが、自転車の利用や市民の家計簿など集計できない・数字に現れない活動の啓蒙をしているということ、未来へどういった取り組みをしたのかという足跡をを残していくのが非常に重要だと思っています。

資料の中ではCO2算出が可能かどうかがありますが、例えばイベントに何人来たか、ということだけでもいいと思います。そういった関心を高めていくことが重要だと思います。

吉村会長

CO2換算という観点も重要ですが、啓蒙活動などをベースとしたCO2算出に現れないところにも未来へ繋がっていく部分があるということですね。そういった活動も数値化・見える化して行ってほしいと思います。

中澤委員

数値化はどんな取り組みでも可能です。資料では困難となっていますが、例えば広報活動についても何回広報を出したか、で見える化できると思います。

宮原副会長

資料では数値化困難となっている、環境にやさしい学校づくりの推進などですが、グリーンカーテン等の実施状況については、とうみエコライフ DAYのチェックシートなどに入れることで数値化ができると思います。

松本市などでもグリーンカーテンの推進をしており、ボランティアで指導者が推進して

いるようです。

こういった項目を、困難だからと落としてしまうのはもったいないと感じます。目標を統合して減らすというのはマイナス思考的な考えで、他の方が言うように「東御市はこんなことに取り組んでいるんだぞ」と言えるような目標が必要だと思いました。

新田委員

環境マネジメントシステム（ISO とか）などの補助金についてどうなっているのか聞きたい。

事務局 大井

担当課より報告いただいているのは、何件補助をしているのかといった情報のみで、どういった推進をしているのか、どういった手続きで補助しているのかは即座に回答できません。

また担当課より聞き取りを行うという形をとらせていただきたいと思います。

事務局 山浦

皆様からいろいろな意見をいただきました。この表の青い項目については「削除する」ではなく、「継続が必要であるが目標設定が困難であるので、検討する」という意味

実績値は算出できるとか、周知が大切だという意見、ありがとうございます。項目については残すという方向で検討させていただき、次回の会議で提出できればと思っておりますのでよろしくお願いたします。

(最後に全体を通して感想を各委員より一言)

5. その他

事務局 大井

最後に、皆様には業務部門・業務その他部門・家庭部門・運輸部門・廃棄物部門・森林吸収源といった各々の立場の方たちとしてお声がけさせていただきました。

今年度については計画策定が主になってしまうかと思いますが、基本的には協議会での情報等をお持ち帰りいただき、策定した計画に基づいた温暖化対策を普及促進する立場としてご協力をお願いいたします。

5 閉会

事務局 高藤課長

それでは第1回東御市地球温暖化対策地域推進協議会を終了いたします。次回の会議は9月を予定しております。ありがとうございました。